

地質調査業務委託 特記仕様書

調査仕様書

I. 調査概要

1. 業務委託名	公益財団法人 福島県保健衛生協会 県南地区センター地質調査業務委託
2. 調査場所	郡山市喜久田町字菖蒲池地内
3. 調査項目	地質調査

II. 調査仕様

- 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修「敷地調査共通仕様書」（平成 23 年 12 月制定、令和 4 年改訂版）による。
- 2. 特記仕様
 - 1) 交通事故等ないように、歩行者等第三者の安全に配慮すること。
 - 2) 調査計画及び報告書の作成にあたっては、その内容について発注者と協議すること。
 - 3) ボーリング調査を行う場所は調査時、仮囲い(コーン、バリケード等)にて関係者以外の調査場所への立入禁止措置を行うこと。
 - 4) 調査用の水は構内の既存の施設を利用できる。(有償)

第 1 章 一般共通事項

1. 打合せ及び記録

下記の時期に適宜打合せを行う。なお、打合せ記録の作成提出を行うこと。

- ① 契約直後
- ② 地盤調査業務着手時（実施計画書の確認、業務工程等の調整）
- ③ 関係官公署及び第三者との打合せ又は協議時
- ④ 地盤調査業務立会い時
- ⑤ 地質調査結果判明時
- ⑥ 調査報告書作成時
- ⑦ 地質調査業務完了時
- ⑧ その他打合せを必要とする時

2. 成果品その他

- 報告書（原稿） : 1 部－電子データ（CD－ROM）
※電子データの形式は、Excel、Word/Jww と PDF 形式両方とする。
- 報告書（製本） : 2 部－A4 版（硬質紙ファイル綴じ、表紙、背表紙文字入れ共）
- 記録写真 : 2 部－報告書（製本）に綴り込む

区分	撮影箇所数
敷地内	2 方向
敷地周囲	2 方向
ベンチマーク	全箇所
土質資料	全箇所
試験状況	全箇所
検尺	全箇所

※柱状図の作成は「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取扱い・保管要領（案）・同解説」（平成 27 年 6 月）による。

- 資料標本箱 : 1 部－調査箇所毎に作成、地層毎に標本ビンに整理すること。
- 打合せ記録

第 2 章 土質調査

1. 基準点

※ベンチマーク . . . 移動の恐れのない固定物

(注) 設置には測量鋺を使用し、他と混同しないように保存する。
また、位置は提出図面に明記する。

2. ボーリング

掘削工法、掘削長さ及び孔径

*機械ボーリング . . . 箇所数、深さ及び孔径は下表による。

場所	掘削位置番号	掘削深さ (m)	掘削の孔径
郡山市 ※別添付図参照	No. 1 号孔	20	φ 66

掘削孔の後処理→現況復旧

3. サウンディング他

- ① 標準貫入試験 試験位置及び深さはボーリング (φ 66) 位置に同じ。
② 土の粒度試験 1 試料 (採取位置は監督員の指示による。)

4. 掘削の中断及び終了の処置

下記のいずれかの場合には、ボーリングを中断または終了し、監督員に報告して指示を受ける。

- 1) 所定の深さに達した場合
2) 標準貫入試験において貫入不能となった場合、又は岩を確認した場合

5. 土質表示

(財) 日本建設情報総合センター「ボーリング柱状図作成及びボーリングコア取り扱い・保管要領 (案)・同解説」(平成 27 年 6 月) による。土質調査用ボーリング柱状図様式による。

6. 総合考察

基礎設計に関する考察を行う。

7. 報告書その他

報告書には、次の事項を記載する。

- (a) 調査項目及び調査方法
(b) 付近の地形及び地盤概要
(c) 敷地の状況、調査位置、基準点と調査位置の地盤高さの高低関係
(d) ボーリングによる土質柱状図
(e) 推定地層断面図
(f) 総合考察

8. 地質標本

土質標本を標本箱に収納して提出する。

ー 調査箇所毎に作成、地層毎に標本ビンに整理すること。

9. その他

・建設予定建築物 鉄骨造 2 階建て 延べ床面積 750 m²程度

